



自己改革 実践中!

えみ
笑味ちゃん
©よい食P

JAは、組合員の営農と生活を守る活動をしています。

農家組合員は、私たちが毎日食べる米や野菜、果物、肉や乳製品、暮らしに彩りを与える花木などの生産とともに、良好な住環境の保全にも寄与しています。

農業は、時に人知が及ばないアクシデントにさいなまれることがあります。農家は、その都度力を合わせ、これを克服し、生産の拡大に努めてきました。その助け合いこそが協同組合のルーツです。

協同組合は、共通のニーズや願いを持つ人たちがその目的を実現するために集まった組織です。

JAは、バンクや共済をはじめとする各事業をより堅固で揺るぎのない良質なサービスとして組合員に提供するために整備してきました。

私たちJAいちかわは、その助け合い精神に基づく総合事業で組合員農家が営む農業をバックアップ。生鮮食料品の供給や金融業務などを通じ、社会インフラの一翼を担います。

そして、私たちは組合員の皆さんのアクティブメンバーシップ化を進め、JAの自己改革を徹底してまいります。

代表理事組合長 就任あいさつ

組合員の信頼・安心 都市農業の 発展を目指します

市川市農業協同組合
代表理事組合長

時田 正一



この度 JAいちかわ代表理事組合長 小泉 勉の逝去に伴い平成30年12月5日の定例理事会において後任の選任をいただき、代表理事組合

長に就任いたしました。

甚だ微力ではございますが、これまで小泉 勉組合長が取り組んでまいりました意思を引き継ぎ、全力を尽くして地域農業振興、地域の活性化やJAいちかわの発展に鋭意努力いたす覚悟でございます。

現在、農業・農協を取り巻く環境は大きな変革の時代を迎えております。JAいちかわといたしましても、JAグループの一員として「創造的自己改革」に全力で取り組んでいます。そして、今こそこれまでの自己改革の取り組み実績と組合員の皆さまからの評価（成果）を基

に、今後のさらなる取り組みが問われています。役職員一丸となって自己改革を実践し、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として組合員ならびに地域の皆さまに必要とされるJAを目指してまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月5日

<http://www.ja-ichikawashi.or.jp>

JAいちかわ 検索



スマホは
こちらから

